



～ 熱中症予防 × コロナ感染防止 ～

マスクの着用により熱中症のリスクが高まります

◇ 飯塚市の小・中学校では、基本的なコロナ感染防止対策としてマスクの着用を指導していますが、マスクの取り外しについては、教育活動の態様や児童生徒の様子などを踏まえ、臨機応変に対応しています。

◇ 気温・湿度や暑さ指数（WBGT）が高く、熱中症などの健康被害が発生するおそれがある場合は、マスクを外すように指導しています。



『登下校時』



マスクの着用は

必要ありません

『運動するとき』



マスクの着用は

必要ありません

学校では、児童生徒の体調の変化に注意し、必要に応じてマスクを外すよう指導しています。特に、体育の授業、運動部活動の活動中、登下校時は熱中症のリスクが高いことから、熱中症対策を優先し、児童生徒に対してマスクを外すよう指導しています。保護者・地域の皆様のご理解をよろしくお願いいたします。



～ 参考資料 ～

- ◇学校における新型コロナウイルス感染症 に関する衛生管理マニュアル ～「学校の新しい生活様式」～（2022.4.1 Ver.8）（文部科学省）
- ◇夏季におけるマスクの着用について（令和4年6月通知）（文部科学省）
- ◇「飯塚市立小・中学校等における 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」令和4年6月改訂

マスクができない子 もいるよ！

飯塚市教育委員会



まわり^{ますく}にマスクをしていない子^こがいたら、
「マスク^{ますく}をせ^いないかんよ！」^{まえ}と言う前に、
「なんであの子^こはマスク^{ますく}をしてないんやろ？」
と^{かんが}考えてみよう。



マスク^{ますく}をすると、頭^{あたま}が痛^{いた}くなる、めまいがする、顔^{かお}がはれてひりひりする、息^{いき}が
苦^{くる}くなる、気持ち^{きもち}が悪^{わる}くなる、といった理由^{りゆう}でマスク^{ますく}をつけられない子^こがいます。



マスク^{ますく}をすると、頭^{あたま}が痛^{いた}い、息^{いき}が苦^{くる}くなる。

そんなときは一人^{ひとり}でがまんしないで、学校^{がっこう}の先生^{せんせい}や
お家^{うち}の人^{ひと}に相談^{そうだん}してください。



マスク^{ますく}ができる子^こもいれば、できない子^こもいるよ。
ひとりひとり^{ひとりひとり}のちがいを理解^{りかい}して、みんな仲良^{なかよ}くできた
らいいね！

保護者・地域の皆様へ

マスクが感染予防対策として定着している中で、感覚過敏、皮膚の病気、呼吸器の
病気といった様々な理由で、マスクの着用が困難な子どもたちがいます。マスクを
着用できない子どもたちに対して差別や偏見が生じることのないよう、見守りをお
願いします。

また、お子さまが上記の理由等でマスクを着用できない場合は、学校に相談して
所定の用紙でお知らせください。用紙は学校で準備しています。用紙は下のQR
コードからもダウンロードできます。

※児童クラブを利用されている方は、学校が用紙を児童クラブと共有しますので、
提出は学校のみで結構です。



【参考資料】

- ◇「マスク等の着用が困難な状態にある発達障害のある方等への理解について」（厚生労働省）
- ◇「飯塚市立小・中学校等における 新型コロナウイルス感染症対策マニュアル」令和4年6月改訂（飯塚市教育委員会）